

平成23年度一般会計予算・特別会計予算を審査 =第1回定例会本会議=

平成23年度一般会計予算および4特別会計予算は、第1回定例会の本会議において議員全員により、3月15日から17日まで3日間にわたり審査いたしました。審査における主な質疑は次のとおりです。

【議会費】

(質問) 議員年金が廃止になっても町費負担は続くのか

(答) 受給されている方の年金がゼロになるまで町の負担は続く。

(質問) 議会改革に関する内容と予算が計上されていないが。

(答) 今期中も議論をした。改選期後に再度議論し、改革内容を精査し経費がかかるのであれば補正予算で対応する。

【総務費】

(質問) 公共施設の大規模改修のために基金を積み立てているが主な内容を伺いたい。

(答) 公共施設整備基金の原資は平成23年度末で5億1千2百万円になる予定。平成24年度までに5億9千7百万円の経費がかかると試算している。主なものとして、ゆめりあや公営住宅、図書館などの屋根や外壁塗装など12施設を予定している。

(質問) 数年前から職員研修に力を入れているが、全体的な成果はどうか。

(答) 知的能力を発揮できる

ように研修に参加している。現在、給与査定の中で人事評価を行っているが、2〜3年前と比べ執務評価や能力評価、業績評価も上がっている。

(質問) 新年度に北海道庁から職員が赴任するが、どのような仕事をするのか。

(答) 北海道庁との交流事業の一環で行うもの。今のところ農産物のブランド化や農業振興公社の立ち上げのプロジェクトに携わるよう予定している。

(質問) 公用車の管理経費を削減。台数を減らす方法はいいのか。

(答) 平成16年度から行財政改革の一環で台数を減らしている。また、車両更新時には軽自動車やエコカーを購入するなど燃料費の節減にも努力している。

(質問) 災害対策本部でもあたる役場庁舎の耐震調査や地震対策は。

(答) 公共施設の耐震対策は財政的なものもあり学校を優先的に考え、役場庁舎の優先順位は低かった。今後、年度途中の補正も視野に入れ検討する。

(質問) 第5次新十津川町総

合計画策定までのスケジュールと町民のかかわり方について。

(答) 9月までには素案を作成し12月定例会に本計画を上程したい。現在のところワークショップ形式は考えていない。町長の考えをもとに総合行政審議会の委員で協議し進めたい。

(質問) 地域公共交通(乗り合いタクシーとして)では大和や花月方面が計画に入っていないが。

(答) 現在運行している国道路線バスは、他の市町の負担もあり今後も存続する考え。国道以外の路線は本町だけで負担しており、負担も多く上総進を除き乗り合いタクシーに移行する考えを持つている。

(質問) 西1線と南4号の交差点は前から事故も多く危険な箇所。電光掲示の「止まれ」の標識を設置してはどうか。

(答) 「止まれ」標識の取替えは考えていない。交通量が少ないとの理由から設置されていないが、2年ほど前から北海道警察に対し信号機の設置を要望している。

(質問) 交通指導員が15名。予算も少ない。報酬の見直しを考えてはどうか。

(答) 非常勤特別職で年間3万円。出役は1日千円でお願している。今のところ見直しは考えていない。

(質問) 行政区活動交付金は例年減額補正(提案型事業)されており、交付基準のハードルが高いのではないか。いろいろなきまりを取り外し、交付してはどうか。

(答) 対象事業がないわけではない。事業費が上限の50万円に届かなく減額している。

(質問) 行政区運営事業の中に区長報酬とその他の行政区に渡る交付金があるが紛らわしいのでは。

(答) 区長報酬は条例に定められた金額を区長に支払うもの。行政区に渡る事務取扱交付金は行政区に対し支出し、文書配布や行政区の行事に使われているケースが多い。行政区に関する事務なので一つの事業の中で予算組みをしている。

【民生費】

(質問) 幼保一体化について考えを聞きたい。